

## 平成30年6月26日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午前10時00分  
閉会 午前11時15分

### 2 出席委員

|     |          |
|-----|----------|
| 田 中 | 教育長      |
| 関   | 教育長職務代理者 |
| 吉 岡 | 委 員      |
| 江 口 | 委 員      |
| 北 村 | 委 員      |

### 3 欠席委員

な し

### 4 出席事務局職員

|     |               |
|-----|---------------|
| 山 本 | 教 育 部 長       |
| 和 田 | 次長兼総括指導主事     |
| 片 山 | 教育総務課長        |
| 土 岐 | 学校教育課長        |
| 大 西 | 社会教育課長        |
| 亀 井 | 社会教育課人権教育担当課長 |
| 平 田 | 学校給食センター所長    |
| 谷   | 図書館長          |
| 鵜 飼 | 文化資料館長        |
| 海老原 | 教育研究所長        |
| 加 藤 | 教育総務課総務係長     |

### 5 傍聴者

1 名

### 6 議事の概要

#### (1) 開会

○教育長が開会を宣言。

#### (2) 前回会議録の承認

平成30年5月22日に開催した定例会の会議録について承認した。

### (3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

#### ◎亀岡市関係

- ・自治委員会議が開催され、教育に関する事項としてふるさと納税の学校版事業である「京都亀岡学校応援事業」について説明した。
- ・東輝・詳徳中学校ブロック協議会を開催し、これまでの経過を報告し今後の取組みとして、一定の時期に方向性を決定することなどを説明した。
- ・市議会定例会 6 月議会が閉会した。教育委員会関係として、学校規模適正化、小規模特認校、特色ある学校づくり、施設整備、空調設備等について質問があり、答弁した。
- ・学校規模適正化地域別推進協議会を開催し、別院中学校ブロック及び東輝・詳徳中ブロックについて、これまでの経過を報告し今後の取組みについて説明した。また、今後、亀岡中学校ブロックについても取組みを進めていくことを説明した。
- ・荒賀選手の後援会役員会が開催された。地元亀岡からオリンピックを目指すアスリートを応援する取組みを進めることとなった。
- ・埋蔵文化財センターが圃場整備に関わって発掘調査を行うこととなったのでその説明等を受けた。
- ・市立幼稚園バザーが開催され、卒園生も含め多くの参加者で賑わっていた。
- ・第 22 回ふるさと子ども相撲亀岡場所が開催され、多数の出場があった。今回が最後の開催となることが発表されたのは残念である。

#### ◎国・府等の関係

- ・府立亀岡高等学校同窓会関東支部が総会を開催されたので、市長の代理として出席した。
- ・口丹波高等学校合同説明会が主に中学 3 年生を対象に亀岡市内で開催された。当日は、南丹市、京丹波町が陸上大会を開催されたので参加者は少なかった。
- ・口丹波中学校陸上競技大会が開催され、東輝中学校が男子・女子・総合の全てで優勝した。  
大会新記録が、110mハードル、100mハードル、円盤投げ、砲丸投げの 4 種目で記録された。
- ・府教育委員会 OB 会は、残念ながら延期となった。

(4) 議 事

| 議案番号    | 件 名                  |
|---------|----------------------|
| 第 3 号議案 | 亀岡市文化財保護委員会委員の委嘱について |
| 第 4 号議案 | 亀岡市指定文化財の指定に係る諮問について |

○第3号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・第3号議案は、任期満了を迎える本市文化財保護委員会委員について、新たに委員を委嘱するため、その候補者について同意を求めるものである。  
新委員の任期は、平成32年6月末までとしている。  
定数は15名であるが現在12名を委嘱しているもので、2名が退任、1名を新規、10名を継続し11名としたい。

第3号議案について、原案どおり承認した。

○第4号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・第4号議案は、文化財保護法、亀岡市文化財保護条例に基づき市内の文化財の内、重要なものを市の指定文化財に指定し保存・活用を図っている。  
指定にあたっては、文化財保護委員会に諮問を行い、調査・審議いただいた結果の答申を経て指定することとしている。  
今回、所有者の内諾等条件が整ったことから諮問をしたいので承認を求めるものである。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委 員 どのような条件が整ったのか。

事務局 今回は、指定することの同意が得られたものである。

教育長 文化財として指定すると一定の制約等も設けられるもので、今回はその同意が得られたものである。

第4号議案について、原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ①平成尾30年亀岡市議会定例会6月議会一般質問・答弁要旨及び9月議会日程(案)について
- ②平成29年度公立中学校卒業生徒の進路状況について
- ③亀岡市部活動指導方針について
- ④平成31年度東・西別院小学校特認校児童募集について
- ⑤平成30年度亀岡市家庭教育支援事業“子育て・親育ち講座”について
- ⑥平成30年度7月・8月教職員研修講座のお知らせ

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

＜平成尾30年亀岡市議会定例会6月議会一般質問・答弁要旨及び9月議会日程(案)について＞

委員 東別院・西別院小学校について「中山間地義務教育学校」ができないか質問されたようだが、どのようなものか。

事務局 両地域では、施設一体型の義務教育学校を設けることを検討されているもので、それについての考え方を質問されたものであると考えている。

市教育委員会としては、これまで別院中学校の生徒を南桑中学校に編入することを基本として自治会役員に提案している。

委員 地元住民は学校を残したいとの思いが強いと感じているが、メリット・デメリットがあるが、適切に伝えられているのか。

事務局 現状や今後の児童生徒の推移、義務教育学校等についてメリット・デメリットの説明をしたいと要請しているが、地域の中で検討したいとして、そこまでに至っていない。

委員 空調整備を行うのは、どの学校か。

教育長 亀岡、安詳、詳徳の3小学校と育親中学校の計4校で実施することとしている。さらにトイレ改修として、大井、つつじ、城西の3小学校について、昨年度に引き続き実施することとしており、当該3校のトイレ改修は完了するものである。

＜平成29年度公立中学校卒業生徒の進路状況について＞

委員 府立高校の入試制度が変更されたが、不合格体験をさせるのはいかがかと思うがどうか。

事務局 府教委では受験機会の複数化、選択肢を増やすことを進めていると聞いている。

委員 複雑な制度で、保護者の理解が得られにくいと思う。

教育長 過去に推薦制度を設けていたが、生徒の先取りと言った批判が私立学校からあったことなどから、前期、中期、後期の入試といったものに変更された。

委員 通信制を含むとされているが、どの程度か。

事務局 全体の１．５％、１３人が今年状況であった。

委員 京都市内の学校への進学希望が多いと聞いている。  
亀岡の公立高校の特色が少ないのではないかと感じるがどうか。

教育長 特色が少ないと言われていることとあわせて、選択の幅が狭いと感じており、今後、議論していきたい。

< 亀岡市部活動指導方針について >

委員 外部指導者は配置されているのか。

事務局 部活動指導員として、５校７人を任用する準備を進めている。  
３～４名の外部指導員も指導にあたっている。

委員 スキルアップコーチは、部活動指導員のことか。

事務局 部活動指導員と外部指導員との総称である。部活動指導員は顧問に就くことができ、生徒を単独で引率できる者を言う。  
外部指導員は顧問と連携して指導に当たる者をいう。

委員 保険等は掛かっているのか。

事務局 公務扱いとなっている。

委員 先生毎に対応が異なることはないのか。  
管理職の判断、顧問（先生）の判断で対応が異なるのではないか。

事務局 方針を定めた以上、遵守するよう指導したい。

委員 保護者への周知が必要である。

委員 外部の者を招くのは必要であるが、指導面、ハラスメント等のリスク管理はどのようなになっているのか。

事務局 教員免許を取得していることを前提としていることと合わせて、研修受講を必須としている。また、管理職が指導内容等を管理することとしている。

< 平成３１年度東・西別院小学校特認校児童募集について >

委員 今年の入学児童数は何人か。

事務局 東別院小が６人、西別院小２人であった。

委員 区域外からか。

事務局 全て地元の児童である。

(6) その他

亀岡市文化資料館平成30年度事業について  
平成30年度地域こん談会の日程について

次回の定例会教育委員会は、7月27日に開催することとした。

(7) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上